ASA フレンドリーコム Vol.114(2013 June.)
ASA 用賀
ASA 二子玉川で
毎月 1 回発行

国分寺崖線おもいはせの路を歩く

先月歩いた「きしべの路」が思いのほか気持ちが良かったので、今月は梅雨の合間にもうひとつのコース「おもいはせの路」を歩いてみました。おすすめルートは全長 6.7km。寄り道しても 7 km。「きしべの路」より約 2 キロ短いと、余裕の気持ちで出発したまでは良かったのですが、これが甘かった。崖下を歩いた「きしべの路」とは正反対。「おもいはせの路」は崖そのものを満喫できるアップダウンの多いコースでした。コース内には「等々力渓谷」や「五島美術館」もあり、ついつい長居をしてしまうため、足に自信のある方でも朝から夕方までかけて歩くか 2 回に分けて歩かれた方が良いと思います。でも、歩くのはキツイですが「おもいはせの路」は、緑多い世田谷の自然を満喫できる素晴らしいコース。上野毛自然公園では鶯の鳴き声に癒されました。

九品仏浄真寺

九品仏の改札を出て左、風情ある参道を進み総門をくぐり、右手の六地蔵、閻魔堂をお参りし、禁銃猟警視庁の石柱に、昔ここは狩猟ができるくらいの森だったのか、と思いを馳せ、仁王門をくぐりながら仁王様に挨拶をし中に入ると左手に鐘楼、正面に三佛堂

本 堂

禁銃猟

閻魔堂

三 佛 堂

上品堂の三佛

御本尊

参道

総 門

鐘 楼

六 地 蔵

松

銀杏

仏足石

右手に本堂があります。この日は、上品堂が開いており、上品上生の阿弥陀様と本堂のお釈迦様が対話をしているような感じでした。境内には天皇お手植えの松や都天然記念物の大銀杏、仏足石などもありじっくり見るには半日はかかりそうです。

ぽかぽか広場 → 宇佐神社

明治45年に創設された玉川浄水場。ぽかぽか広場は、その貯水場上部に作られました。視界がパァーっと開け気持ちのイイ所謂原っぱです。お子さんやお孫さんと思いっきり駆け回って欲しい広場です。ごろ寝してでっかい空を見上げるのも良し。

道路上には路の案内表示が

寮の坂

寮の坂の下にある松高山傳乗寺は、昔は坂の東側台地に所在し、かつ本道とならんで僧侶の学寮が建てられていたために、この坂道を土地の人は寮の坂と呼んでいる。特に急な坂ではないが、国分寺崖線を堪能できる坂です。

八幡塚古墳は立入禁止

八幡塚古墳は、野毛古墳群のひとつ。宇佐神社の境内にある円墳で直径約 30m、高さ約 4.5m。出土品から 5 世紀中頃から 6 世紀のものとされている。

源頼義公が、1051 年安部一族を平定に赴く際に、この尾山に陣を張り勝利を誓った。そして 1063 年に安部一族を平定し、ここに八幡社を建て神に勝利を報告したのが宇佐神社の謂れです。

＊いろはにアサッチ＃47「す」＊
～粋は身を食う～

「す」は、江戸では 「粋は身を食う」これは、遊里や花柳界などの事情に詳しくて、もてはやされ得意になっている人は、やがて深入りし身を滅ぼしてしまうという戒め。京では「雀百まで踊り忘れず」これは、幼い時に身につけた習慣や若い時に覚えた道楽は、いくつになっても直らないというたとえ。大阪は「墨に染まれば黒くなる」これは、人は環境や交わる友によって良くも悪くもなることのたとえ。朱に交われば赤くなると同じ。どれもよく使いますね。

伝乗寺

五重塔

本堂

区内における古刹であり、その縁起は遠く、後伏見天皇の正和五年（1316年）と刻まれた板碑の発掘によります。

尾山台クラブ広場

急な階段を上ると小さな広場があります。これぞ崖線上からの眺めですが、木がちょっと邪魔。

元は誰かの邸宅だったのでしょうか？石を積んだ基礎のような跡があります。それにしても尾山台クラブとは一体？

大日如来尊

御岳山古墳への道すがら大日如来入口の石柱に惹かれて道を逸れてみると小さい祠に石仏が。花もきちんと供えられ大切にされています。

御岳山古墳

立入禁止なので中を覗いてみると向きもバラバラな数多くの石仏がありました。一体誰が何のために。

等々力渓谷

23 区内唯一の渓谷である等々力渓谷は、木々が直射日光を遮り、川のせせらぎも涼やかでこれからの季節◎

等々力不動

真言宗智山派寺院の等々力不動尊明王院は、滝轟山と号し、等々力満願寺の別院です。約800年前、和歌山根来寺の興教大師が当地に不動堂を建立したと伝えられます。

等々力渓谷日本庭園

開放感溢れる広場

等々力不動から渓谷に降りて左へ行くと日本庭園があります。回遊式の庭園で見事な竹林や開放感溢れる広場、書院があり癒しスポットになっています。

清々しい竹林

休憩もできる書院

都史跡等々力渓谷三号横穴

8世紀ころのものとされる横穴式古墳。

それ行け！！アサッチ

＊後半は 8 月号に掲載します